

【技術の名称】 K P C 工法 －鉄骨基礎梁を用いた架構の杭頭接合工法－	性能証明番号：GBRC 性能証明 第23-02号 性能証明発効日：2023年4月26日 【取得者】 株式会社鴻池組
--	---

【技術の概要】

本技術は、鉄骨造の基礎梁を有する上部架構を既製コンクリート杭に支持させるための杭頭接合工法であり、杭頭部と上部架構の接続にコンクリート充填鋼管のパイルキャップを用いることが特徴である。パイルキャップに用いる鋼管は、鉄骨基礎梁に接合される接合鋼管と基礎梁下部のパイルキャップ鋼管から成り、いずれも内部にコンクリートが充填される。本技術には、杭頭アンカー筋の有る KPC-t 工法と杭頭アンカー筋の無い KPC-n 工法の2種類が用意されている。KPC-t 工法ではパイルキャップ鋼管内に柱アンカー筋と杭頭アンカー筋が所定の定着長さで定着され、杭頭固定として設計される。一方、KPC-n 工法ではパイルキャップ鋼管内は無筋であり、杭頭に曲げバネを設定することで杭頭半固定として設計される。

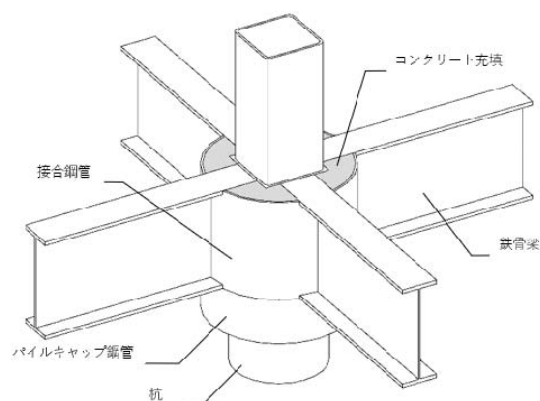


図1 KPC 工法 概要

【技術開発の趣旨】

本技術は、基礎梁やパイルキャップを鉄筋コンクリート造とする従来の杭基礎に対して、基礎梁を鉄骨造としパイルキャップをコンクリート充填鋼管とすることにより、基礎構造の配筋工事や型枠工事を不要として、省力化や短工期化を実現するための杭頭接合工法である。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「K P C 工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された鉄骨基礎梁と既製コンクリート杭の杭頭接合部は、上部架構からの応力を杭へ伝達するために必要な許容耐力、終局耐力および変形性能を有する。

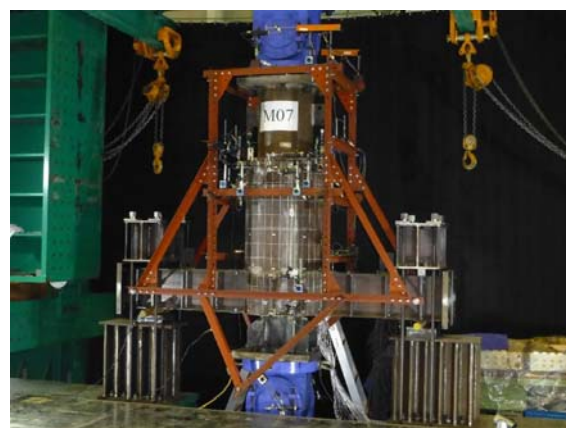


写真1 構造実験 状況

【本技術の問合せ先】

株式会社鴻池組 担当者：西内 晃二
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-9-1

E-mail：nishiuchi_kj@konoike.co.jp
TEL：03-5201-7930 FAX：03-5201-7935